

中小企業のSDGs推進に関する実態調査(2023年) (アンケート調査)

2023.3.31
(独) 中小企業基盤整備機構 広報・情報戦略統括室 総合情報戦略課



【調査結果のポイント】

- ・SDGsを十分に理解・やや理解している企業は40.9%。前回調査(2022年1月)時よりわずかに(2.1ポイント)上昇。
- ・SDGsの取組企業・取組予定企業は43.8%と3.2ポイント上昇も、今後も取り組む予定のない企業も変わらず3割程度存在。
- ・SDGsの取組企業・取組予定企業の進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(40.0%)が最多。
- ・補助金・助成金、SDGs推進指針の策定・公表、SDGs取組事例の公表などの支援ニーズが高い。

※前回調査結果(2022年3月公表) URL: https://www.smrj.go.jp/research_case/research/questionnaire/index.html

(1)調査概要

- ・調査日時: 2023年1月26日~30日
- ・調査方法: Webアンケート
- ・調査対象: 全国の中小企業者 2,000
(中小企業基本法における中小・小規模企業の定義に基づく)

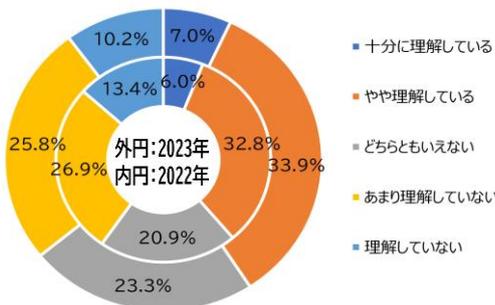
図表1 調査対象業種の構成比 ()内は小規模企業数

全産業(合計)		回答企業数/構成比	
		2,000(1,544)	100.0%
製造業		1,000(714)	50.0%
非製造業	建設業	200(175)	10.0%
	卸売業	200(129)	10.0%
	小売業	300(271)	15.0%
	情報通信	100(74)	5.0%
	サービス業	100(90)	5.0%
	宿泊・飲食業	100(91)	5.0%
	その他	100(91)	5.0%

(2)SDGsに対する理解度は前回調査時よりわずかに(2.1ポイント)上昇

SDGsについて理解している(「十分に理解している」「やや理解している」)は40.9%で、前回調査の38.8%を2.1ポイント上回った。わずかにではあるが、SDGsに対する理解は高まりつつあることがわかる。(図表2)

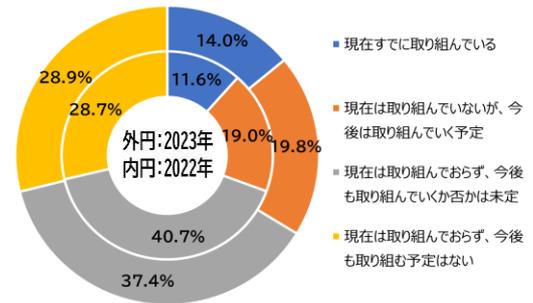
図表2 SDGsに対する理解度 対前年比較 (n=2,000)



(3)SDGsの取組・予定企業は若干増加するも、今後も取り組む予定がないとする企業も変わらず3割程度存在

SDGsの取組状況について、「現在すでに取り組んでいる」(14.0%)と「現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」(19.8%)の合計は33.8%となり、前回調査の30.6%を3.2ポイント上回った。一方、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」は28.9%で、前回調査の28.7%と同様の3割程度変わらず存在している。(図表3)

図表3 SDGsの取組状況 対前年比較 (n=2,000)



SDGsの取組状況を従業員規模別にみると、「現在すでに取り組んでいる」が201~300人で48.7%と前回調査の29.6%から19.1ポイントと大幅に上昇。一方、6~20人以下、51~100人においても着実に上昇している。(図表4)

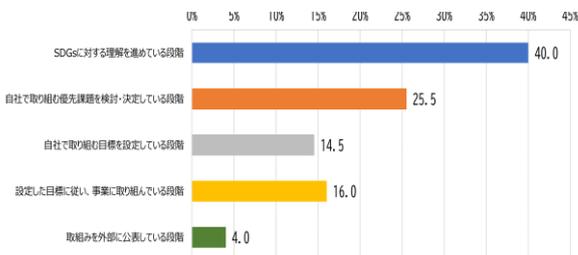
図表4 SDGsの取組状況【従業員規模別】 (n=2,000)

従業員規模	調査年	取組状況 (%)			
		現在すでに取り組んでいる	現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定	現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくかは未定	現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない
301人以上	2022年	58.6	24.2	6.9	10.3
	2023年	29.6	22.3	37.0	11.1
201~300人	2022年	48.7	25.7	17.9	7.7
	2023年	50.0	30.0	16.0	4.0
101~200人	2022年	20.7	32.5	37.0	9.8
	2023年	22.9	36.5	31.2	9.4
51~100人	2022年	21.1	24.3	41.6	13.0
	2023年	21.6	26.1	42.6	9.7
6~20人	2022年	10.3	24.5	41.8	23.4
	2023年	17.6	26.5	36.0	19.9
5人以下	2022年	8.4	16.1	41.6	33.9
	2023年	8.4	16.2	38.8	36.6

(4) 取組・予定企業のSDGsの進捗状況は、「理解を進めている段階」が40%で最多

「現在すでに取り組んでいる」「現在は取り組んでいないが、今後は取り組んでいく予定」の企業におけるSDGsの進捗状況は、「SDGsに対する理解を進めている段階」(40.0%)が最も多く、次いで「自社で取り組む優先課題を検討・決定している段階」(25.5%)となっている。「取組みを外部に公表している段階」まで到達している企業はわずか4.0%であった。(図表5)

図表5 SDGsの取組みにみる進捗状況 (n=675 単一回答)

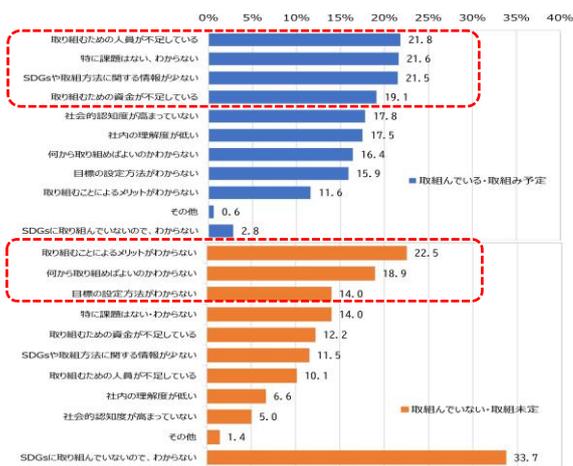


(5) 取組・予定企業では人材、情報及び資金の不足、未取組・取組未定企業ではメリットや取組方法がわからないことが課題

「現在すでに取り組んでいる」「現在は取り組んでいないが、今後は取り組む予定」の企業におけるSDGsの取組みに向けた課題としては、「特に課題はない・わからない」(21.6%)を除くと、「取り組むための人員が不足している」の21.8%が最も多く、次いで「SDGsや取組方法に関する情報が少ない」(21.5%)、「取り組むための資金不足している」(19.1%)の順で続く。

一方、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組んでいくか否かは未定」「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」企業では、「取り組むことによるメリットがわからない」(22.5%)が最も多く、次いで「何から取り組めばよいのかわからない」(18.9%)が続いている。(図表6)

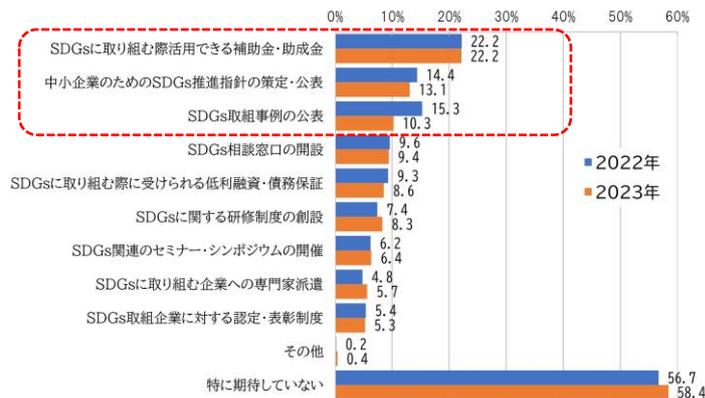
図表6 SDGsの取組みに向けた課題 (n=2,000 複数回答)



(6) 補助金・助成金、SDGs推進指針の策定・公表、SDGs取組事例の公表などの支援ニーズが高い

SDGs推進に向けて期待する支援策は、「特に期待していない」が58.4%と約6割を占める一方、「SDGsに取り組む際活用できる補助金・助成金」(22.2%)、「中小企業のためのSDGs推進指針の策定・公表」(13.1%)、「SDGs取組事例の公表」(10.3%)などが、前回調査と若干の順位の変動はあったものの、高い割合を占めている。(図表7)

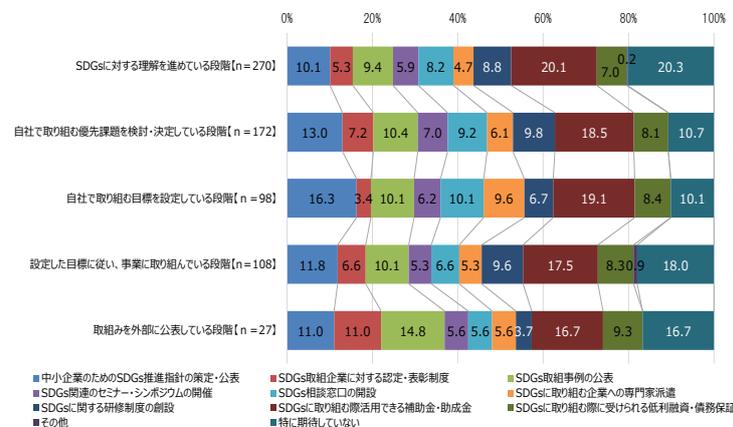
図表7 SDGsの推進に向けて期待する支援策 (n=2,000 複数回答)



SDGsの進捗段階ごとに期待する支援策としては、「特に期待していない」を除き、全ての進捗段階において「SDGsに取り組む際活用できる補助金・助成金」、「中小企業のためのSDGs推進指針の策定・公表」などへの期待が総じて高い。これらを除くと、SDGsに対する理解を進めている段階では満遍なく支援を期待する傾向がみられる。一方、自社で取り組む優先課題を検討・決定している段階では、「SDGs取組事例の公表」(10.4%)、自社で取り組む目標を設定している段階では、「SDGs相談窓口の開設」(10.1%)、設定した目標に従い、事業に取り組んでいる段階では、「SDGに関する研修制度の創設」(9.6%)、取組みを外部に公表している段階では、「SDGs取組企業に対する認定・表彰制度」(11.0%)などの割合が高くなっており、それぞれの進捗段階ごとに期待する支援の特徴が伺える。(図表8)

図表8 進捗段階別における期待する支援策 (n=675 複数回答)

※下記のグラフは、進捗段階ごとの回答総数に対する割合



(7) まとめ

今回の調査結果によると、SDGsに取り組んでいる、あるいは今後取り組む予定の企業はわずかに増加しているものの、今後取り組む予定がないとする企業も一定程度変わらず存在している。こうした企業がSDGsに関心をもち、取組を進めてもらうためには、SDGsへの理解をより一層深める施策を展開する必要がある。なによりも、なぜ日本でSDGsへの取組みが求められているのか、大企業のみならず中小・小規模企業もSDGsに取り組む必要があるのか、引き続き、丁寧でわかりやすく説明していくことが求められている。

独立行政法人中小企業基盤整備機構 総合情報戦略課
 担当：葦浦、朱山、伊原
 TEL：03-5470-1521 (部門代表)
 Email：chosa@smrj.go.jp